

要 請 書

日頃は、我が国の平和と国民の安全のために、御尽力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、これまで本県では、本県上空で米軍機による低空飛行訓練が実施されないよう、国に対し、繰り返し要請してきたところであります。

また、全国知事会でも、昨年11月に新たにとりまとめた「米軍基地負担に関する提言」において、米軍機による低空飛行訓練等について、国の責任で必要な実態調査を行うとともに、訓練ルートや訓練が行われる時期について速やかかつ詳細な事前情報提供を必ず行い、関係自治体や地域住民の不安を払拭するよう、十分な配慮を行うことを要請しているところです。

そうした中、本県では、米軍機と見られる航空機の低空飛行訓練の目撃情報が増加しており、2月2日現在で、平成11年、日米により飛行高度について、航空法を遵守する旨の合意がされて以降、最多であった昨年を上回る59日の目撃情報が既に寄せられております。中には、夜間の飛行訓練に関する目撃情報や100dBを超える騒音測定値も寄せられており、周辺の住民は、その轟音に強い恐怖と不安を抱いているところです。

以上のことから、県民の安全・安心を確保するため、下記について、改めて強く要請いたします。

- 1 日米合同委員会の合意等に反する低空飛行訓練や住民に不安や懸念を抱かせるような飛行訓練が実施されないよう対処すること
- 2 事前に可能な限り詳細な飛行訓練に関する情報を把握し、時間的余裕を持って提供すること
- 3 国の責任において騒音測定器を設置するなど、米軍機の低空飛行の実態把握に努めること

令和3年2月5日

徳島県知事 飯 泉 嘉 門